



障がいを “ 知 る ・ 学 ぶ ”

令和2年度 ところに寄り添い合う人づくり講座

精神に障がいのある方からのメッセージ 「わかってほしい！！」

実行主体：第3次能美市地域福祉活動計画 ところに寄り添い合う人づくり委員会
社会福祉法人能美市社会福祉協議会

日時：2月23日（火・祝） 10時30分～12時

会場：ふれあいプラザ 第1会議室



内容 第3次能美市地域福祉活動計画「ところに寄り添い合う人づくり委員会」では、地域において障がいを理解することで、ところに寄り添い合う意識づくりを進め、「共生社会の実現」に向けて話し合いを進めてきました。

能美地域活動センター『はまかぜ』（中ノ江町）の利用者より、日常生活で感じていることや、コロナ禍の今の思いを聞き、ありのままに受けとめて、“相手のことを思い”、“気持ちに寄り添った” 関わり方について考えました。

また、当日は、3密を避けるために、『はまかぜ』とオンラインで中継し、研修を行いました。

今後に向けて

人間は一人ひとりに、それぞれの人生、そして思いがあります。周囲との関わり方も一人ひとり違います。今回の講座では、特に精神に障がいのある方々のこれまでの思いを聞き、考える機会としました。当事者自身が病気に気づけず SOS を出せない場合もあるということ、小さな変化にも気づけるとよいこと、気持ちに寄り添う姿勢で認めるということ、また地域の人の声掛けが大切であるということ当事者の言葉から学びました。これからも、私たち一人ひとりが、「ところに寄り添い合う」ということについて意識し、学びと実践をくりかえし、地域でその人らしい暮らしができるよう一緒に考えていくことが必要だと確認しました。



はまかぜの管理者 高田氏

3名の当事者の方からは、「地域で声をかけてもらえることで認められているという実感に繋がりが嬉しい」という声が聞かれました。



参加者一人ひとりが当事者の思いに耳を傾け、障がいへの理解や寄り添い合うことについて学びを深めました。

参加者感想（一部抜粋）

参加者：31名

- 地域の人々がつながり、専門職に繋げる仕組みづくりの大切さ、それが市民の常識となることが必要だと思いました。
- Iさんがおっしゃっていた声かけが大事だと思いました。動いてこちらから声かけしようと思いました。
- 3名の方から理解することは、受け手の自分が変わることでもあると分かった感じがします。
- ごく普通に、ごく当たり前にご近所付き合いができることが大切であることがわかりました。
- 相手のことを理解する、寄り添うことの大切さを改めて感じました。